

2019年4月17日

2019年度 VOL.4

《 待ち望んだ
青の絶景 》

丘一面を染め上げる 青い妖精 ネモフィラいよいよ見頃

見頃予想／4月24日頃 ※ピークは1週間～10日ほど続く見込

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」では、現在、ネモフィラが5分咲きです。今年は例年並みの開花状況で、今週末に見頃（7分咲き）、24日頃に見頃を迎えると予想しています。ピークは1週間から10日程続き、ゴールデンウィークいっぱいお楽しみいただける見込みです。本公園ならではの、春の風景をお楽しみください。



みはらしの丘（2019年4月16日撮影）

◆「みはらしの丘」を青く染める 可憐な一年草「ネモフィラ」

和名では「瑠璃唐草（るりからくさ）」と呼ばれ、直径3センチほどの可憐な花と、唐草模様のような形の葉が特徴です。英名は赤ちゃんの澄んだ瞳を意味する「バイビーブルーアイズ」。属名の「ネモフィラ」はギリシャ語の「ネモス（小森）」と「フィレオ（愛する）」を合わせた言葉で、森林の周辺に自生することに由来しています。ネモフィラは花壇の脇役として植えられることが多く、園芸店などでも目にする身近なお花です。本公園では「みはらしの丘」一面に植栽することで、ここでしか見られない風景を作り出しています。

場所：みはらしの丘 植栽面積：約3.5ha 本数：約450万本

品種：インシグニスブルー ムラサキ科(旧ハゼリソウ科)ネモフィラ属の一年草



ナノハナもまもなく見頃(2019年4月16日撮影)

◆ネモフィラをもっと楽しむために、ガイドツアーや限定商品登場

4月21日（日）には、植物管理担当スタッフが育て方や裏話をお話する「ネモフィラガイドツアー」を開催します。また、ネモフィラの開花に合わせて、ネモフィラにちなんだ飲食メニューが多数登場。「ネモフィラブルーティー」や「ネモフィラブルーラテ」などのドリンクや、爽やかな色合いが印象的な「ネモフィラブルーソフト」は、写真映えもする人気メニューです。



ネモフィラブルーラテ(2019年3月9日撮影)

◆約半年間に渡り、多くの人の手でつくり上げる「青の絶景」

ネモフィラを咲かせるための準備は、前年11月から始まります。みはらしの丘に、約1週間かけて手作業で種をまきます。その後、冬季の低温や霜への対策として、保温・霜除けのシートを丘一面に設置し、春には気象状況や長期予報と照らし合わせながら外していきます。シートをはずした後は、雑草との戦い。雑草の生長に負けないよう、手作業で丘全体の除草作業を行います。毎年春に、青一色に染まるみはらしの丘の風景は、約半年間に渡る作業によって造られています。



手作業で雑草を取り除く(2019年4月4日撮影)

Information

ネモフィラ開花状況はHPにて随時更新。
GW期間中(4/27～5/6)は7:30開園。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星

TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

[https:// hitachikaihin.jp](https://hitachikaihin.jp)